

流域治水対策による浸水被害の防止、軽減

3か年緊急対策

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要 要: 3か年緊急対策、5か年加速化対策などにより、河道掘削や築堤等を集中的に実施。また、全国のダムで事前放流を行い洪水を貯留。令和6年の大雨において、浸水被害を防止、または大きく軽減する効果が見られた。

対策名: 1-1流域治水対策(河川) <5か年加速化対策>【国土交通省】

1全国の河川における堤防決壊時の危険性に関する緊急対策<3か年緊急対策>【国土交通省】

○3か年緊急対策、5か年加速化対策等により全国で河道掘削等を集中的に実施。

3か年緊急対策、5か年加速化対策等による河道掘削量(平成30年~令和5年度末)

令和5年大雨が降った主な地域	各地方での対策量	(参考)全国
東北地方	約1,385万m ³ の河道掘削を実施 ダンプトラック約280万台	約10,274万m ³ ダンプトラック 約2,060万台
中部地方	約905万m ³ の河道掘削を実施 ダンプトラック約180万台	
近畿地方	約1,211万m ³ の河道掘削を実施 ダンプトラック約240万台	
四国地方	約659万m ³ の河道掘削を実施 ダンプトラック約130万台	
九州地方	約1,296万m ³ の河道掘削を実施 ダンプトラック約260万台	

※3か年緊急対策及び5か年加速化対策に加え、再度災害防止対策として実施した事業分等を含む

○全国のダムで事前放流を実施

対象の雨	実施ダム数
令和6年8月台風第10号による大雨	全国136ダム

大和川(奈良県)の河道掘削等



事前放流実施後のダム湖
緑川ダム(九州地方整備局)



■ 令和6年の大雨における効果事例

効果事例

河道掘削や築堤等の効果により、河川氾濫による家屋等の浸水被害を防止する効果が見られた。



小本川水系小本川				
	降雨量	浸水戸数		死者数 (関連死)
		床上	床下	
H28.8 台風第10号	251mm	558戸	44戸	24人
R6.8 台風第5号	251mm	0戸	0戸	0人

■ 令和6年の被災状況

- 令和6年は全国において130を超える河川での氾濫や1,433件の土砂災害による被害が発生。
- また、能登半島では令和6年9月の大雨により、地震からの復興途上にあった被災地において、複合災害による甚大な被害が発生。
- 気候変動による降雨量の増大に備え、今後必要に応じた**事前防災対策の強化が必要**。



令和6年7月の大雨被害
(山形県戸沢村)